

学 科	鍼灸マッサージ科	学 年	3年生	期 別	通年	科目の実務経歴	無
授業科目名	鍼灸理論			担当教員	山田 英史		
授業の方法	講 義			単位数	2単位	時間数	60時間
概 要	鍼灸施術の意義および治療効果について理解し、鍼灸施術を効果的に行なう能力と態度を身につける。						
授業の到達目標	II. 医学的知識 3. 人体に影響を及ぼす諸因子(物理的・化学的・生物学的・心理的・文化的) 8. リスク管理						
授業計画	前 期			後 期			
	回	テーマ		回	テーマ		
	1	第1章 概論 1. 鍼灸施術の意義 2. 鍼灸治療の特徴		1	第9章 鍼灸治効の基礎 1. 痛み感覚の受容と伝導		
	2	第2章 灸の基礎知識 1. 用具―鍼と鍼管 2. 古代九鍼		2	第9章 鍼灸治効の基礎 2. 温度感覚の受容と伝達		
	3	第3章 刺鍼の方式と術式 1. 刺鍼の方式 2. 刺鍼の術式		3	第9章 鍼灸治効の基礎 3. 触圧感覚の受容と伝達		
	4	第4章 特殊鍼法 1)小児鍼 2)皮内鍼、円皮鍼 3)灸頭鍼 4)低周波鍼痛電療法 5)その他		4	第9章 鍼灸治効の基礎 5. 鍼灸刺激と反射 4. 筋の伸張刺激および筋の振動の受容と伝導		
	5	第5章 灸の基礎知識 1. 灸の材料 2. 線香		5	第9章 鍼灸治効の基礎 6. 鍼鎮痛		
	6	第6章 灸術の種類 透熱灸 知熱灸 他		6	第9章 鍼灸治効の基礎 7. 刺激と反応		
	7	中間テスト 第6章 灸術の種類 その他の灸法		7	中間テスト 第9章 鍼灸治効の基礎		
	8	第7章 鍼灸の臨床応用 1. 刺激量 2. 感受性 3. 鍼灸療法の適応症 4. 鍼灸療法の禁忌		8	第10章 鍼灸療法の一般治効理論 2. 自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響		
	9	第7章 鍼灸の臨床応用		9	第10章 鍼灸療法の一般治効理論 2. 自律神経に及ぼす鍼灸刺激の影響		
	10	第8章 リスク管理 1. リスク管理の基本 2. 鍼灸療法の過誤と副作用		10	第10章 鍼灸療法の一般治効理論 3. 生体防御機構に及ぼす鍼灸刺激の影響		
	11	第8章 リスク管理 2. 鍼灸療法の過誤と副作用		11	第10章 鍼灸療法の一般治効理論 4. 鍼灸刺激と神経系・内分泌系・免疫系の相互作用		
	12	第8章 リスク管理 2. 鍼灸療法の過誤と副作用		12	第11章 関連学説 1. サイバネティックス 2. ホメオスターシス		
	13	第8章 リスク管理 3. 灸療法の過誤と副作用 4. 感染症対策		13	第11章 関連学説 3. 汎適応症候群(ストレス学説)4. 過剰刺激症候群(レイリー現象)		
	14	第8章 リスク管理 4. 感染症対策		14	第11章 関連学説 5. 圧発汗反射		
15	鍼の基礎知識・刺鍼の方式と術式・特殊鍼法・灸の基礎知識・種類・鍼灸の臨床応用・リスク管理		15	鍼灸治効の基礎・鍼灸療法の一般治効理論・関連学説			
評価基準	評価:90-100点(A評価)、80-89点(B評価)、70-79点(C評価)、60-69点(D評価)、59点以下(F・不可)						
評価方法	中間試験 50% 期末試験 50% の割合で評価します。			実務経歴	臨床経験17年 開業歴8年		
履修上の注意	鍼灸師として用具の特徴、治療効果、起こりうるリスクをしっかりと理解すること			授業時間外の学習	授業内容の復習や生理学(神経系)の復習を行うこと。		
使用教材	「はりきゅう理論」(東洋療法学校協会編)、「生理学」(医歯薬出版編) 配布プリント			連絡先	質問または相談があるときは職員室を訪ねてください。(火・金曜日のみ)		